

平成 27 年 安曇野市版環境家計簿 集計結果

1 目的

「安曇野市地球温暖化対策実行計画」の推進に関連し、エネルギー消費に係る二酸化炭素排出量の把握と、市民への普及啓発を目的として実施した。

2 対象者

市内在住の世帯

3 調査方法

郵送により調査票の送付及び回収を行った。

4 調査項目

(1) エネルギー消費量

平成 27 年 1～12 月の電気・LP ガス・灯油・ガソリン・軽油の使用量

(2) 省エネについて日頃取り組んでいること

5 調査期間

平成 27 年 1 月～12 月

6 回答世帯数・世帯の概略

(1) 世帯数：60 世帯

(2) 世帯の平均人数：3.1 人（1 人～7 人）

(3) 住居の種別：一戸建て 57 世帯／アパート 3 世帯

(4) 自動車の平均保有台数：ガソリン車 2.5 台／軽油車 0.25 台

7 調査結果

今回の集計結果について、エネルギー源ごとの 1 世帯あたりおよび 1 人あたり温室効果ガス排出量を前回集計結果と比較すると、表 1 のとおりであった。

表1 温室効果ガス排出量 増減以外の単位：kg-CO₂

エネルギー源	温室効果ガス排出量(kg-CO ₂)					
	1世帯あたり(H26)	1世帯あたり(H27)	増減(H26→H27)	1人あたり(H26)	1人あたり(H27)	増減(H26→H27)
電気	2,829.6	2,780.5	Δ1.76%	803.7	892.1	10.9%
LPガス	435.9	340.0	Δ28.2%	123.8	109.1	Δ11.9%
灯油	1,724.0	1,553.0	Δ11.1%	489.7	498.3	1.8%
ガソリン	2,863.0	2,867.4	1.5%	813.2	920.0	13.1%
軽油	337.0	270.1	Δ24.8%	95.7	86.7	Δ9.4%
合計	8,189.5	7,811.0	Δ4.6%	2,326.0	2,506.2	7.7%

今回の集計で採用した温室効果ガス排出係数は、表2のとおりである。過年度分集計結果との比較のため、平成25年度より変更していない。

表2 温室効果ガス排出係数

エネルギー源	排出係数	エネルギー源	排出係数
電気	0.516*	ガソリン	2.3
LPガス	6.2	軽油	2.6
灯油	2.5		

※環境省報道発表資料による (<https://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17532>)

なお、「安曇野市地球温暖化対策実行計画」では、電気、LPガス、灯油の1世帯あたり排出量合計を民生家庭部門として計算している。今回の同じ項目の合計は、4.67t-CO₂であった。実行計画に掲載されている、平成20年度(2008年度)の排出量推計結果(3.12t-CO₂/世帯)と比較すると、1世帯あたりの排出量は約1.5倍と大きくなっている。

表3 1世帯あたり排出量の前回推計結果との比較 増減率以外の単位：t-CO₂

実行計画策定時推計(H20年度)	前回(H26年)	今回(H27年)	増減率(H20→H26)
3.12	4.99	4.67	49.6%

また、今回の調査で寄せられた、省エネに関する取り組みは以下の通りであった。

- ・ 昨年9月に冷蔵庫を新しく買い、今年との差を比較したところ、昨年と比較し毎日1kW位は確実に減っていました。今年11月に洗濯機が故障したので新品に買い換えましたが、もちろんエコ対策済のものです。日々メーターを記録して、今後も様子をみながら節約(電気量)に心がけようと思っています。
- ・ 主人がお風呂にたっぷりお湯をはって肩までつかるのが好きなので、子供と一緒に入ってもらうようにした。(お湯のかさが子供分増える)
- ・ エコ運転を常に心掛けました。多少寒くても、アイドリングストップ機能をOFFにしないです。ひざ掛けを車の中に常備するようにしました。
- ・ 電気は夜中の分をたくさん使うよう設定し、食洗機なども夜中に洗うよう設定しました。ユニデール(蓄熱暖房)もセットをそういう風にしてあります。その甲斐あり、夏場は特に電気代は安く、冬もユニデールの効果がありますので、冬場の電気代は夏より高いですが、1年を通して平均すればバランスは取れていると思います。(オール電化)
- ・ 洗濯物を干す時、部屋に干しています。数年、風邪をひかなくなりました。
- ・ 用事で出かける時はできるだけ車を使わずに歩く事にした。
- ・ 今年は暖冬だったので、いつもは2つ点ける暖房を1つにした。灯油はまとめて買っているので効果にすぐ反映されないけれど、年間でみたら減るのではと思っている。運転中は急発進、急ブレーキをしないように心掛けた。
- ・ 太陽光温熱機の導入、8月プラズマテレビから液晶テレビへ買い替え
- ・ 不使用の電気は極力消した。
- ・ 温度設定を少し下げている。使用しない場所の電灯は消している。細かいところから節電していると思います。
- ・ 自動車の使用を減らし、自転車を多く利用した。例年より、毎月10Lほどガソリン使用が減った。
- ・ 電気をこまめに消す。待機電源を減らす。暖房をいれっぱなしにしない。など。月ごとでみると小さな効果でも、年間してみると大きいものだなあと感じました。
- ・ 電球を何個かLED電球に変えました。
- ・ LED電球の一層推進
- ・ 普通自動車から軽自動車に変更しました。結果、ガソリン使用量が大幅に減少しました。
- ・ こまめに電気を消す、温度等の管理をしてストーブを消す等心掛けた。
- ・ こまめに電気を消すように心掛けた。ガスで調理する際、なべ、やかんから炎がはみ出さない火加減にすることに気を付けた。なかなか効果が目に見えてわからないけれど、小さな心掛けをして省エネルギーに生活できるようにしたい。
- ・ 太陽光温水器を使用
- ・ ガラス戸に断熱シートを張る。
- ・ 凍結防止帯の電源は-4℃を目安にONにする。
- ・ 風呂に薪を使用
- ・ 冬季に電気使用量が多いのは水道管凍結防止用ヒーターと考えられる。-5℃以上になればOFFにしているが、凍結に関するデータがあれば教示ください。
- ・ 電源のON/OFFをこまめに行った。
- ・ 使わないコンセントはこまめに抜く。
- ・ 毎日、目標電力を設定し、太陽光発電システムについている電子版を使って細めにチェックする。
- ・ 就寝時、電気毛布の使用をやめ、湯たんぽにしてみた。いちがいいには言えないが、夜間の使用量でみると前年の同月より4kWh減った。
- ・ 節電(照明LED化、水道ヒーターは屋外のみ、トイレヒーターは使用時のみ)
- ・ 風呂は温泉タンク運搬
- ・ 冬の寒い時は重ね着をして、暖房を使う頻度を減らすようにしました。効果(省エネ)は大きくは感じませんが、少しくらい寒くてもなんとかなるようになった気がしました。無駄に燃料を使わないようになりそうです。
- ・ 二重窓を採用

- ・省エネに対する意識が少しずつ変わってきているように思います。特別なことはやっていませんが、全体として数字が下がっています。
- ・ストーブの設定温度を 20℃にした。
- ・車の暖気運転を止めた。
- ・エコキュートの使用量を毎日チェックした。増減を見て、考察し、あまり増えないよう努力した。
- ・一度に LED に替えられず今年 2 部屋の電灯を LED に替えました。
- ・年末年始、家を留守にしたので深夜電気温水器の自動運転を休止に設定し、無駄な電力を抑えた。
- ・使わない電気を消す
- ・緑のカーテン(ゴーヤ) 日陰効果と食料調達でとてもよかった。
- ・重ね着や湯たんぽをして暖房に頼らない生活
- ・電気代節約のためエアコンをがまんした。寒かった。
- ・ムダな電気は消す、点けない
- ・暖房の温度設定は低めに
- ・風呂は続けて入る
- ・風呂の残り湯を翌日の洗濯に使用
- ・こまめに電気を消す
- ・延長コードを ON、OFF の切り替えのできる物に替え家電の待機電力を減らす努力をした。